

## 保存される 埋蔵文化財

東北新幹線や東北縦貫自動車道の建設などで県勢の飛躍的な発展を期す本県。しかし、こうした開発で破壊が懸念されるのは埋蔵文化財である。

このため県では、これら文化財を可能な限り記録し、永久に保存しようと、発掘を急いでいる。

発掘を始めたのは昨年からであるが、縦貫道（一関―盛岡）関係だけでも七十

二遺跡が対象。このため今年度は、県教育委員会事務局に文化課を創設し、人員も強化するなど、目下フル回転の発掘である。（猫谷地遺跡Ⅱ江釣子村Ⅱの発掘時代は八世紀と考えられ、すでにたて穴住居跡四基を確認、土師器がセットⅡツボ・カメ・ツッキ・タカツキⅡで出土するなど貴重な遺物も出土している。）

